

教科目名 地域日本文学（Regional Japanese Literature）

学科名・学年：全学科 4 年（教育プログラム 第 1 学年 ◎科目）

単位数など：必修 1 単位（前期 1 コマ，授業時間 23.25 時間）

担当教員：相本正吾

授業の概要

- ・大分県を舞台とした，または，大分県の人が書いた古今の文学作品（随筆・小説・和歌短歌・俳諧俳句・紀行文・漢文漢詩・戯曲）を読み，その読解・鑑賞と，その内容に関する文章作成や意見交換を行う．それらの文章に触れていくことを通して，地元大分への関心や理解を深める．
- ・常用漢字（書き取り読み取り）・慣用句・四字熟語・重要語の学習やテストを授業及び定期考査で行い漢字・語句の力を身につける．

達成目標と評価方法

大分高専目標(C1)，JABEE 目標(f)

- (1) 大分に関わる古文・漢文・現代文に親しみ，本文や内容の理解の基礎力・応用力を身につける．（プリント・定期考査）
- (2) 古文・漢文・漢詩の読解の基礎力を身につける．（プリント・定期考査）
- (3) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける．（プリント・提出課題・発表）
- (4) 常用漢字（書き取り読み取り）・慣用句・四字熟語・語句の力をつける．（プリント・定期考査）

回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	ガイダンス，近現代の俳句	ガイダンス，及び、大分に関わりのある近現代の俳句を読む。	【理解の度合い】
2	万葉集の歌	大分のことを詠んでいる万葉集の中の歌を読む。	
3	随筆（１）	大分のことに触れている近現代の随筆を読む。	
4	近現代の短歌	大分に関わりのある近現代の短歌を読む。	
5	紀行文（１）	近現代の大分への紀行文を読む。	
6	紀行文（２）	江戸期の大分への紀行文を読む。	
7	小説	大分を舞台としている小説を読む。	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	中間試験の解答と解説 江戸期の俳諧	大分に関わりのある江戸時代の俳諧を読む。	【理解の度合い】
10	随筆（２）	大分のことに触れている近現代の随筆を読む。	
11	江戸期の和歌	大分に関わりのある江戸時代の和歌を読む。	
12	江戸期の漢文漢詩	大分に関わりのある江戸時代の漢文漢詩を読む。	
13	戯曲	大分の人形芝居(その上演と台本)を鑑賞する。	
14	随筆（３）	大分のことに触れている近現代の随筆を読む。	
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	期末試験の解答と解説		
履 修 上 の 注 意		そのつど渡すプリントを A4 版のファイルに綴じて学習を行う。	【総合達成度】
教 科 書		授業でそのつど渡すプリントをテキストとする。	
参 考 図 書		特になし。	
自学上の注意		授業で毎回渡すプリントをファイルに保管し授業に持参すること。	
関 連 科 目		日本語表現法(後期)，現代文(3年)，卒業研究(5年)	
総 合 評 価		総合評価＝2回の考査の平均点×0.7＋課題点(30点満点)．総合評価が60点以上を合格とする．対象者に対して再試験は行う。	【総合評価】 点